

[平成 21 年度日本神経生理検査研究会総会議事録] 2009.7.30 横浜

出席者 23 名, 委任状 67 名 計 90 名で総会成立した。(会員数 303 名)

平成 21 年 7 月 30 日、総会は式次第に順じておこなわれた。(議案書参照)

【1】平成 20 年度事業報告・会計報告 (1, 2 号議案) →承認

高橋会長：事業報告. 水野副会長：会計報告と説明.

- 1) 20 年度会費収入については、地区により明細チェック未確認もあったが現状で記載した.
- 2) [会費前納制, 半額送金] の認識が地区により誤解や勘違いなどがあったようである.
今後各地区の代表もしくは会計とさらに連絡協議を行い、もし過払いとなっているようなら納入会費の一部返金も考えている.

発言：会計報告の表に予算額を対比して作成してほしいと要望があった (小野会員).

石郷監査：会計監査報告

【2】(3 号議案) 平成 21 年度事業計画案・予算案 →承認

高橋会長：年会費は本部へ納入の後、地区活動費として半額還付すると明記した旨.

【3】一般議題

1) 日本神経生理検査研究会規約改定案 (4 号の 1) →承認

文言訂正発言：鶴岡会員

会則：第 12 条 7) 「評議員」は原則→「評議員会」は原則

5 号議案：役員選出 役員 3. 「評議員」→「評議員会」へ →承認

(事務局註) 会則改正の中で明確な変更は

- ①会費は前納制としたこと. つまり、会員は、年度末までに次年度の会費を納入する.
- ②会計年度は、一般社会年度に合わせて、4 月 1 日から 3 月 31 日となったこと.

2) 評議員会での審議事項 (4 号の 2)

高橋会長：(1)～(4)について専用メーリングリストで評議員会で討議を行った旨報告した.

3) (4 号の 3) 全国講習会の開催について

提案理由の説明：高橋会長

- 1) 日臨技医学検査学会が、今後、大都市の国際会議場がある 6 会場に限定され、地方からの参加がいままでより難しくなることが予想される。
- 2) 学会前日の夜に講習会と総会を実施するには時間的に無理があること。
- 3) もっと時間をとって (例えば 1 日)、より充実した講義・講習会を開催することが会員サービスの向上になるのではないか。
- 4) 講師に高名な専門医師を招待することもあるが、日程などにより参加者少ないのは残念。
質疑：宇城、齋藤、小野会員より質問があった。

①日臨技の全国学会と今までどおりに併用して開催していいのか。

独立して開催する場合

- ①関東甲信越地区や中部地区での研修会では参加者があつまるので、併用するのか。
- ②参加する人やスタッフにお金がかかるのではないか。
- ③世代交代して、交通費もなしでやっていけるのか。
- ④会員に対して、独立して行って、参加できるのかを聞くのも必要か、など

(事務局註) マイクなしでの発言のため録音不鮮明であり映像も定点だったので発言者特定不能でした.

高橋会長：どの選択がより会員サービスになるのかを念頭において考えていく。

全国講習会案の本総会のまとめとして

高橋会長：「開催目的、開催時期、開催内容などを含めたアンケートをメーリングリストやホームページから募集し、評議委員会で討議し次の総会で再度提案する」となった

【4】(5 号議案) 平成 21 年度役員選出 →承認

記録：総会書記石郷景子, 事務局瀬川義朗